

# 「働き方改革」につながる 社宅管理アウトソーシングサービス NTTビジネスアソシエの「teNta Ace」

今「働き方改革」の中で注目を集めているのが「福利厚生」と「アウトソーシング」だ。この2つのキーワードがどのように働き方改革につながるのか、福利厚生の専門家である、千葉商科大学会計大学院教授の可児俊信さんと、社宅管理アウトソーシングサービスを提供するNTTビジネスアソシエの代表取締役社長である小椋敏勝さんに、弊社編集長の豊田健一が話をうかがった。

——なぜ今、「働き方改革」があらためて注目されているのでしょうか？

可児さん（以下、敬称略）…ここ一〇年ぐらいで、ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティ経営、健康経営などさまざまなキーワードが出てきました。今回の働き方改革というのは、過去のキーワードの集大成になっているように思います。

——経営者として「働き方改革」をどのように捉えていますか？

小椋さん（以下、敬称略）…私としては、社員の働き方を、全体としてどうバランスを取るかという観点で考えています。一つは雇用形態による労働条件の違いによるもの、もう一つは、社員の長時間労働。これは今どこの会社でも問題になっています。

——社会全体としても「時短」への取り組みが必要ということでしょうか？

可児…そうですね。一人ひとりの仕事のやり方として割り切るところは割り切り、役割分担を明確にし、専門性の高いものは任せられる人に任せる。それらの作業をまとめて行うことで、結果として労働生産性の向上につながります。時短で浮いた時間やコストは社員のレベルアップのために還元し、さらなる時間短縮につなげることが重要です。

——たとえば、そのための手段として教育も含めた福利厚生が必要になるのでしょうか？

可児…そうですね。福利厚生は会社が

——不動産は専門知識が必要な上、地方の慣習の違いや災害など、気を付けるべき点も非常に多岐にわたるのではないのでしょうか？

小椋…企業の担当の方が、直接不動産会社とすべて折衝しなければならいとなると大変です。特に事業を全国に展開されている企業の場合、二、三人の社宅確保のために、東京から地方まで出向くのかということになる。ほかにも支払い方法やトラブル処理など、非常に手間が掛かります。それらの業務を弊社の社宅管理アウトソーシングサービス「teNta Ace」（テナタエース）にお任せいただければ、お客さまに代わって大家さん、管理会社と折衝し、社宅としてお使いいただける物件を提供させていただきます。社宅確保のための手間が大幅に省けます。さらに「teNta Ace」では、私たちがお客さまに代わって敷金を預け入れる「敷ゼロ」プランもありますので、お客さまは敷金を準備する必要がなく、オフバランス化を進められます。

ら見たら再投資。社員から見たら、働きやすい職場、自分を伸ばせる職場ということになり、今はそれらが求められています。具体的には、自己啓発や、両立支援、健康支援、社内のコミュニケーション支援などでしょう。

——福利厚生について、経営者としてはどうのように捉えていますか？

小椋…社員の人たちにとっていちばん興味があるのは、当然、給与。その次に福利厚生です。給与以外で、いかに付加価値を提供し、社員が働きがいを見いだしてくれるのか。福利厚生の内容も時代を経て変わっていますから、社員が福利厚生に何を求めているかを、企業が見極める必要があります。

——福利厚生は、採用活動や企業の経営にも大事なことです。が、企業の経営も含めて少数精鋭でやらざるを得ないのが現状です。解決法としてはどんなものがありますか？

可児…アウトソーシングを上手に活用することを考えていくべきです。まず、社内でするよりも業務の専門性とスケールメリットが高まります。以前はアウトソーシングを行う際、コストダウンとなるかがポイントでしたが、今は、コストよりマンパワーをより本業に傾けられるかが重視されています。より少ない人数で、よりプロフェッショナルな仕事求められる観点からも、アウトソーシングへの流れはより強くなるものと感じています。

——そのような時代に向けて、NTTビジネスアソシエではどのように考えていますか？

小椋…企業にとってアウトソーシングによるコストダウンは大前提ですが、それに加えて、たとえば信頼性や柔軟性など、価格以外の付加価値も含めてアウトソーシング先を取捨選択していただく時代にきていると感じます。「teNta Ace」では、お客さま（企業）、建物オーナーや管理会社、そして社宅に住んでいる社員の方それぞれに、どれだけご満足いただけるかを第一に考えています。私たちにアウトソーシングして良かったなと思っただけのケースが増えることによって、より多くのお客さまに「teNta Ace」を使っていただけるようになるのではと考えています。ご契約いただく企業の担当の方と、実際にお住まいになる社員のみなさまの双方が満足することが、結果的に企業の生産性の向上につながると思います。



## teNta Aceの特長をご紹介します！

### POINT 1 リスクヘッジ効果！

与信調査や契約業務から解放され、さまざまなリスクを回避できる。マイナンバーの記載が必要な書類の提出も一部の支払いを除き不要に。

### POINT 2 財務改善！（オフバランス）

敷金ゼロで借上げ社宅を利用でき、敷金管理から解放される。資産のオフバランス化、経理稼働の削減を実現できる。

### POINT 3 全国エリアで豊富な物件！

安心のネットワークで急な転勤・配属にも対応。専門のスタッフが社員の方に満足いただける物件をご紹介します。

**NTTビジネスアソシエ**

社宅管理・経理・人事業務の課題解決をフルサポート

お問い合わせ

リビング事業部 法人営業部門

**0120-27-3622**

(平日 9:30 ~ 18:00)

<http://www.ntt-ba.co.jp/>

## 可児俊信さん

千葉商科大学会計大学院 教授

2005 年より現職。株式会社ベネフィット・ワン ヒューマンキャピタル研究所所長を兼職。企業・官公庁の福利厚生のコンサルティングのほか、『福利厚生アウトソーシングの理論と活用』（株式会社労務研究所刊）ほか、著書、寄稿、講演多数。



## 小椋敏勝さん

エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ株式会社 代表取締役社長

1978年日本電信電話公社（現・日本電信電話株式会社）に入社。西日本電信電話株式会社 代表取締役副社長を経て、2015 年エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ株式会社 代表取締役社長に就任。